

## 公開請求の内容及び処理状況

請求日	決定日	公文書の件名	決定内容	非公開事由 (7条該当号)	担当局	担当
令和3年6 月17日	令和3年6 月30日	ダイバーシティがあるにもかかわらず、東成区役所で、ワクチン接種を希望しないリストが作成されたのがダイバーシティが公務として機能していないことがわかる文書（市民局ダイバーシティ推進室 人権企画課保有分）	不存在	号	市民局	人権企画課

請求日	決定日	公文書の件名	決定内容	非公開事由 (7条該当号)	担当局	担当
令和3年6月23日	令和3年7月7日	<p>5月20日付の公開請求に対して本文書の送付がありました。</p> <p>1. 請求内容は「統計学のどのような点をどのように参考しているのかわかる一切の文書」としてははずですが、公開されたものは区長会で「統計学上アンケート回答者数が400弱必要」という説明がなされたことがわかるにとどまり、統計学の「どのような点を」「どのように参考しているのか」は全くわかりません。これらわかる文書を公開してください。</p> <p>2. 区長会での説明「調査結果の正確性（標本誤差）から、統計学上、1区あたり400弱のサンプル数（アンケート回答者数）が求められる」について、</p> <p>ア) 「調査結果の正確性（標本誤差）から」について、「改革の柱2として（略）成果指標と目標値を設定しており（略）区民に対してアンケートを行い、成果指標を測定することとなっている」との記載と合わせると、成果指標（各団体により地域の特性や課題に応じた活動が進められていると感じる各区民の割合など）を一定の正確性をもって測定することが目的であると解されるが、このアンケートで前記測定ができてることがわかる一切の文書を公開してください。6月15日に出された情報公開審査会答申第492号では、「あくまで各調査の回答者の回答状況にとどまるもの」とありますが、これとの関係がわかる文書です。</p> <p>イ) 「統計学上、1区あたり400弱のサンプル数（アンケート回答者数）が求められる」について、具体的に400弱とはどのように導き出されるのか。浪速区役所の回答には「信頼水準95%」との記載もありましたが、これとの関係性はどのようなものであるのか、また前記答申では「当該アンケートについて統計学上必要とされる、信頼度、標本誤差の設定を行っている設計内容が記載された文書は存在しない」とありますが、この設計なくしてどのように400弱を求めたのかわかる文書です。右記アで請求する書類は、「市政改革プラン2.0」の進捗報告などホームページに既に公開されている情報や、平成30年度区民アンケートの実施にかかる決裁書類及び調査報告書を除いたもの</p>	不存在	号	市民局	区行政制度担当